

秋田米レポート

第29号（令和8年9月）

ダイジェスト版

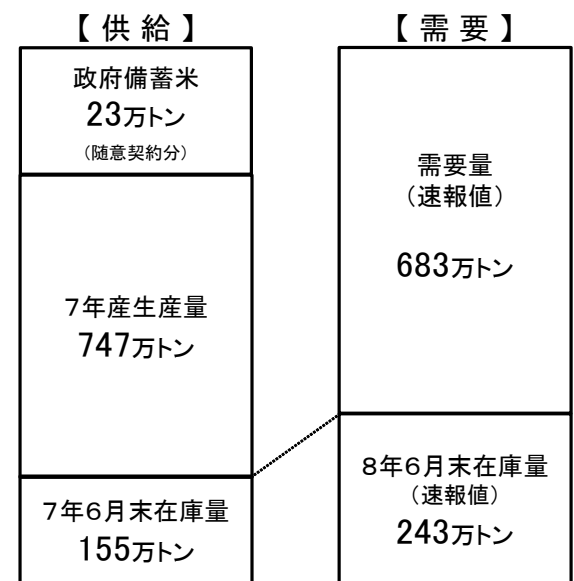
秋田県農林水産部
水田総合利用課

1 令和8/9年の見通し（全国）

（1）令和7/8年の実績と令和8/9年の見通し（令和8年9月基本指針より）

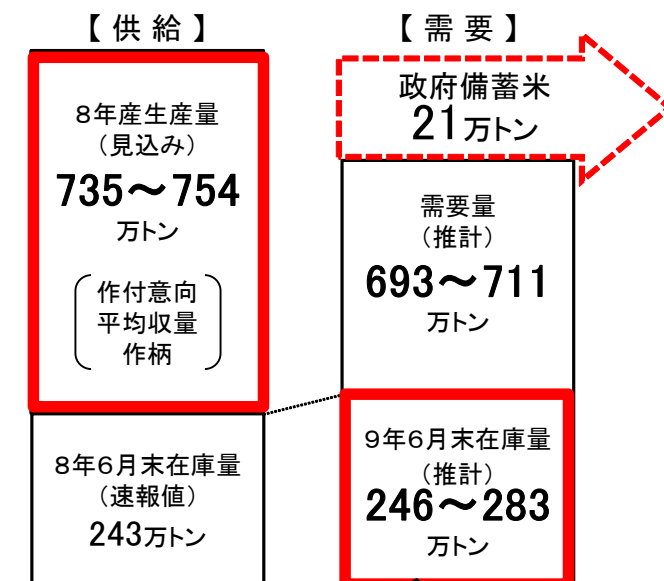
- 国は、8月15日現在の作柄や政府備蓄米の買戻しを踏まえ、基本指針を変更した。
- ・ 作付意向（令和8年6月末時点）や10a当たり平均収量（5中3平均）、8月15日現在における10a当たり収量の平均比見込みを踏まえ、令和8年産の生産量を735万～754万トンと見通した（前回(7/28)は732万トン）。
- ・ 令和8/9年の需要量から政府備蓄米の買戻し（令和7年産21万トン）分を差し引くと、令和9年6月末の民間在庫量は、246万～283万トンと推計された（前回(7/28)は263～281万トン）。

< 令和7/8年の需要実績 >



< 令和8/9年の需給見通し >

作付意向調査（令和8年6月末時点）、10a当たり平均収量（過去5か年の5中3の平均）、8月15日現在の作柄を踏まえた見通し



適正と言われている水準は
180～200万トン

国は備蓄米について令和7年産で21万トンを買戻すとなりましたが、適正とされる水準を超えた分の6月末在庫量（43万トン）の半分以下です。



今後、備蓄米の買戻しについて、令和9/10年以降も含め、計画的に実施するとしています。

2 令和8/9年の見通し（県産米）

（1）令和7/8年の実績と令和8/9年の見通し（県による予想）

- 6月末時点の主食用米の作付意向と平均単収及び作柄から、本県の8年産米の生産量は前年より2.6万トン少ない451,798トン（前回(7/28)は453,700トン）と見込まれる。
- 令和8/9年の需要を直近5か年の平均値とした場合、令和9年6月末在庫は、207,042トン（前回(7/28)は208,944トン）となり、適正とされる在庫量（10万～12万トン）の2倍程度に達する見込み。

< 令和7/8年の需給実績 >

【供給】	【需要】
7年産供給量 477,643トン (R8年7月 国基本指針)	需要量 (速報値) 400,351トン
7年6月末在庫量 97,941トン	8年6月末在庫量 (速報値) 175,233トン

< 令和8/9年の需給見通し >

【供給】	【需要】
8年産生産量 (見込み) 451,798トン (作付意向 平均収量 作柄)	需要量見通し (推計) 419,989トン (直近5か年の平均)
8年6月末在庫量 (速報値) 175,233トン	9年6月末在庫量 (予測) 207,042トン

適正と言われている水準は
10～12万トン

※令和8年生産量（見込み）

$$\begin{array}{ccccccc} \text{作付意向面積} & \times & \text{平均単収} & \times & \text{作柄} & = & \text{生産量} \\ 78,620\text{ha} & & 574.66\text{kg}/10\text{a} & & \text{平年並み} & & 451,798\text{トン} \\ (\text{前年比}\blacktriangle 2,580\text{ha}) & & (\text{過去5年の5中3の平均}) & & (101\sim 99\%) & & (447,280\sim 456,316\text{トン}) \end{array}$$

国が公表した都道府県別の需給見通しには、政府備蓄米の分が含まれていませんので、令和7年産米の需要実績や令和9年6月末在庫量を評価するときは注意が必要です。



令和7年産米21万トンの政府備蓄米は今後、随意契約により買戻されます。

8月20日までの営農計画書等の変更や作柄により需給見通しは今後、変更される見込みです。